



# 道政かわら版

RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No.20



## 迎春

### 2016 新年あいさつ



北海道議会議員  
喜多龍一

あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。ありがとうございました。

昨年の統一選挙では平成十五年の二期目に続き、トップで道議会に送っていただきました。二期無投票で長年連れ添った秘書が不在だけに、どうなるのかなと瞬よぎりでしたが、いざという時の後援会の戦闘力は凄まじく、当所の結果を得させて下さいました。本当に有難うございました。

さて昨年は戦後七十年の節目の年で、戦後七十年を振り返る報道等も数多くありました。同時に戦後の日本を形作ってきた根幹にかかわる大きな変更がありました。TPP合意。安全保障関連法の成立。マイナンバー制度の施行。改正公職選挙法で今年七月の参院選から選挙権年齢が「十八歳以上」に引き下げられたのもその二つでしょう。

安全保障、力と力の均衡の上にも、何よりも緊張緩和・対話・平和への取組みを最重要視して欲しい。マイナンバー、税と社会保障の一体改革から浮上したのですが、効率も大事だが安全安心を最優先して欲しい。選挙権に伴い、少年法は？ 有権者となる意識の醸成や成人としての自覚、学校現場の対応などどうするかについて十分に検討されたと思うが、どうなのかな？

北海道においては、昨年六月ロシア水域における流し網漁業禁止法が成立、この一月一日から「ロシア二百海里を越えます流し網漁」が禁

止となりました。父祖が築き、北海道の春から初夏にかけての風物詩でもあり漁業と地域振興の柱でありました。自民党道連・議員会の対策本部長としてしっかりと対策を講じてまいります。また昨秋の二つの台風と爆弾低気圧による秋サケ定置網被害の対策については、道・漁業系統団体とともにしっかりと対処してまいります。

また、人口減少社会に立ち向かうための「地方創生総合戦略」を都道府県も市町村も策定し、具体の取組みをスタートする年で、子育て支援や広域観光などが目立ちますが、息の長い取組みと仕掛けが必要です。特に教育（学校教育・社会教育）は地域力を底上げする原動力です。実際のプレイヤーは市町村・地域であり、その後押しが道の役割と心得て連携してまいります。人口流出を食い止める、呼び込む。何が原因か、何が必要かを熟議して、夢や目標を掲げる、夢・目標無きところに行動も結果（成功も失敗も）も生まれません。

特にTPPは年明け以降予断の許さない状況が続く、とつとつ我が国主導のもと十月五日大筋合意となつてしまいました。政府は、農林水産物輸入品全品目の関税撤廃率九五・一%、うち重要五品目の関税撤廃率は二九・七%で、コメ、小麦、甘味資源作物、牛肉・豚



北海道議会議員選挙

肉、乳製品、林産物、水産物等の主要品目で国家貿易制度は維持、国別枠を設定、輸入急増に対するセーフガードを措置した、と成果を言います。そして「攻めの農業、輸出、六次産業」と判を押すように口を揃えます。それらも大事と思うが、どれ程のものでしょうか。

昨年一月に発効した日豪FTAの牛肉関税は、これまで三八五%だったものが冷凍二年目三〇・五%二年目二八・五%…十八年目十九・五%、冷蔵二年目三二・五%二年目三二・五%…十五年目三二・五%と比べ、十六年目以降九%とする今回の合意は、かつて予想しないほどの低関税となるわけで、国内対策の財源となる関税収入の減分を一般財源から充当できるか、などの不安があります。

これまでも離農は進み、北海道の農家戸数は二十年ごとに半減しています。日本全体でもかつて十一兆円あった農業産出額は今、八兆五千億円と衰退産業といわれ、一方で食糧自給率がここ数年四十%を割っていることが叫ばれる中、食糧安全保障の面からも心配です。現政権は農業を「産業政策と地域政策」と位置付けましたが、「食糧政策」という視点が欠落しています。

外交交渉によって生じるリスクの補填は国の責務です。そして生産者の皆さんと組合系統の努力により持続可能な産業としていくために、兼業に比べ打撃の大きい専業地帯の十勝として、緊張感を持って長期的視点で国内対策の取組みに注視していく必要があります。

今年も様々な課題が山積し、何が起きるかわかりませんが、「地方が主役」との強い思いで、緊張感を持って事に臨む決意を新たにしています。変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

本道の中小企業153,000社の約9割を占める133,000社の小規模企業(製造業、建設業等20人未満、商業、サービス業5人未満)数がこの3年で1万社以上が減少し、廃業率が開業率を上回り、後継者不在が72.8%と全国一で、代表者の半数が60歳以上となっています。こうした状況は全国的で、一昨年6月に小規模企業基本法を制定、道も昨年8月から「北海道小規模企業振興条例(仮称)」を検討しています。素案概要は道の責務、小規模企業者の努力、団体・金融機関・大学等の役割、市町村との連携等を定め、そのもとに基本的な施策として

◇経営体質の強化 ◇円滑な事業承継 ◇創業等の促進

を三本柱として掲げています。そのための対策として

◇各地域における支援する体制をつくる

◇(ファンドなど方法はまだ未定ですが)道が金融機関と連携し、事業承継・譲渡・創業を行おうとする者に円滑な資金の供給される必要な措置を講ずる

◇小規模企業の振興の具体的な方策を策定する

などが検討されており、実効条例を目指しています。この3月、27年度内に制定を予定しています。道単独でできることは小さくとも、とにかく1歩でも2歩でも前へ進むことが次の1歩につながります!



## INFORMATION 十勝楽友会講演会

講演テーマ 「TPP合意後の酪農畜産のこれから」

講師 原田 英男 [前農林水産省畜産部長]

とき：平成28年3月5日(土) 14時～

ところ：幕別町百年記念ホール [幕別町字千住180-1 TEL:0155-56-8600]

会費：1,000円

※チケットをご希望の方は喜多龍一事務所にご連絡をください。

〒089-0533 中川郡幕別町札内新北町74-16 TEL 0155-56-7755 FAX 0155-56-7766



頂きます。今後共、喜多龍一道議、当連合後援会に対しまして、ご支援ご協力を心からお願い致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

後援会の皆様、新年明けましておめでとうござい座居います。皆様方には、ご家族お揃いでお元気で平成二十八年の新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は統一地方選挙の年であり道議にとって六回目の選挙がありました。皆様方の力強いご支援と道議の日頃の政治活動が評価され、二回連続のトップ当選をさせて頂きました。心からお礼を申し上げます。

更に昨年は、TPPが大筋合意されました。今後の北海道農業に対する後対策が急がれます。

道議には、議長経験者として、又、北海道の一次産業の実態を一番理解している政治家として期待する次第であります。



喜多龍一十勝連合後援会  
会長 千葉 幹雄

### 新年のご挨拶



北海道議会議員選挙





十勝毎日新聞 平成二十七年六月十九日

### 政治 スポーツ



◆喜多龍一 道議(十勝区)  
の十勝連合後援会(千葉幹  
雄会長)の総会  
18日午後2時から幕別町  
内の札内福祉センターで開  
かれ、任期満了に伴う役員  
改選で千葉会長ら主な役員  
を再任した。

約30人が出席。千葉会長  
のあいさつと議事終了の  
後、喜多道議は「前回(道  
議選の獲得票率)を上回る  
結果に、後援会の皆さんの  
力に感謝している。国と地  
方の懸け橋となるべく、議  
長経験者として大きな存在  
感を示していかなければな  
らない」と述べた。写真。  
また、前秘書で幕別町長  
選に出馬した前川雅志氏が  
あいさつし、「統一地方選  
挙前に(秘書を)やめたこ  
とをおわび申し上げます  
が、皆さんには感謝の言葉  
しかない」と話した。

十勝毎日新聞 平成二十七年九月二日



## 十勝先例にハワイ交流

### 州議員団 道議会に 友好提携も視野

【札幌】米國・ハワイ州  
議会下院議員団13人が8月  
31日、道議会を来訪訪問し  
た。連勝道議長や道議会関  
係者と懇談し、経済人同士

記念品を贈り握手するイト  
ウ団長と連勝議長(左か  
ら)。右は喜多道議

や農業分野で交流を進める  
十勝を先進事例に、友好提  
携締結も視野に交流を促進  
することなどで一致した。  
北海道とハワイの関係で  
は、2014年に現地関係  
者が来道し、高井修前副知  
事と協力に関する覚書も締  
結している。ハワイ州議会

北海道新聞 平成二十七年八月三十一日

## 「リンゴの唄」幕別に響け



万城目正の歌碑が除幕され、拍手で祝う  
小助川会長(左から2人目)ら

## 万城目正、出身地に歌碑

【幕別】十勝管内幕別町  
出身で、戦後の大ヒット曲  
「リンゴの唄」など映画音  
楽や歌謡曲で一世を風靡し  
た作曲家万城目正(19  
05~68年)の生誕110  
周年を記念し、功績をたた  
える歌碑の除幕式が30日、  
同町百年記念ホールで行わ  
れ、道内外の人々が祝った。  
町民有志らでつくる記念  
事業協賛会(小助川勝義会  
長)が「万城目が幕別出身  
であることを広く伝えた  
い」と寄付金を募るなどし

て歌碑を設置した。歌碑は  
横3.5m、高さ2.5m。御影石  
製でピアノをかたどり、わ  
きに高さ60cmのリンゴを配  
した。ボタンを押すと「リ  
ンゴの唄」と万城目作曲の  
「幕別町歌」が流れる。  
除幕式には約50人が出  
席。幕別町の飯田晴義町長  
らが幕を引くと拍手がわい  
た。地元の郷土史家で万城  
目の研究を続けてきた小助  
川会長は「いつまでもこの  
歌碑を大切に見守ってほし  
い」とあいさつした。

十勝毎日新聞 平成二十七年九月三日

## 高橋知事ら支援を要望

### サケ・マス流し網漁禁止で林農水相に



林大臣(手前)に要望する高橋知事、伊東  
良孝衆院議員、喜多道議(左から)

【東京】高橋はるみ道知  
事、自民党道連・議員会の  
北洋さけ・ます流し網漁対  
策本部長の喜多龍一 道議  
(十勝区)らは2日、農林  
水産省で林芳正農水相に会  
い、ロシアで来年からサケ  
・マス流し網漁業が禁止さ  
れるに伴う関連産業への  
支援を要望した。

身もさまざまな知恵、財政  
を投入しなければ。道東地  
域の危機的状況への対処を  
スピーディーにやっつけてい  
たい」と述べた。  
林農水相は「北海道全体  
の要望として真摯(しんしん)  
に受け止める。関係府省と  
も連携しながら具体的な対  
策の検討をただちにスタ  
トさせたい。政府、与党の  
連絡を密にしてしっかりと  
対応する」と約束した。  
同日は荒川裕生副知事  
も、中川郁子農水相政務官  
らに要望書を提出した。  
(岩城由彦)

## 吾輩は秘書でした

昨年二月二十日をもちまして  
十八年半務めさせていただいた  
喜多事務所を退職いたしました。  
これまで、公私共に格別のご厚  
情を賜り厚くお礼申し上げます。  
また、昨年春には、私の為に、喜  
多後援会の多くの皆様にお力を  
いただきましたが、残念な結果と  
なりました。ご心配ご迷惑をお  
かけしましたことを心からお詫  
び申し上げます。

春からしばらくはラブラブして  
いましたが、縁がありまして、九  
月一日より社会福祉法人刀圭会  
そつび苑施設長として、お世話に  
なっています。これまでとは違っ  
世界ですが、やりがいがあり、充  
実した日々を送っています。

CM

社会福祉法人刀圭会では、介  
護サービスは勿論、グループの協  
立病院との連携を図っています。  
介護で何かお困りのことがあり  
ましたら、気軽にご連絡下さい。

社会福祉法人刀圭会 そつび苑

住所 帯広市西十六条北二丁目

二十七番地

電話 〇五五―三六―二〇八八

またどこかで、お会いできるこ  
とを楽しみにしています。  
それでは、今年一年が皆様にとっ  
て素晴らしい年となることをご  
祈念申し上げます。

元秘書 前川雅志



# 「北海道分県研究会」を 立ち上げました。

道議会自民党議員会の中に、所属五十一名中二十七名の参加で。

## 【背景】

これまで我が国の地方制度については、地方分権という方向です。もつとは広域行政を進める、その最たるものが平成の大合併と道州制の議論でした。結果は距離面積が小さく、自治体間が連担している府県で大きく進み（平成十二年時点の全国の自治体数二千二百三十二が二十六年四月時点で千七百十八、本道は二百十二が百七十九）、広げて離れている本道では進みませんでした。

一方、道州制議論については、全国町村会と議長会は道州制の導入により、行政と住民の距離が広がり、住民自治が後退の二途を辿り地域がますます疲弊し、道州間・道州内の格差が広がるなどの問題点を指摘し、道州制には断固反対する、としています（道町村会と議長会も同様）。全国知事会と全国市長会は、地方分権を着実に進めるとし、特に知事会は、道州制を国の都合による行財政改革や財政再建の手段にされることを、警戒する意見となっています。

総じて地方六団体は道州制に反対もしくは警戒感を持っています。それは北海道よりも面積・人口・などにおいて小さな県のままの方が、県政及び市町村運営・地域経営にきめ細かく対応できるということなのでしょう。

## 「なぜ今分県か」

そこだとするならこの広大な北海道をいくつかに分割してみたらどうなるか、と言ったのが研究会立ち上げの動機の一つです。

もつこの動機は、人口減社会に立ち向かう地域創

生の取り組みを、町村ごとに戦略をたて、成果が求められることになりました。市町村は孤独です。これまでも町長自ら先頭となって医師探しをはじめ町のために様々頑張っています。地域経済や商店の疲弊衰退、医療・雇用・教育など遠隔地・過疎地域での安心の崩壊などにより、全国から首都圏へより道内の札幌への人口集中率が高いとされています。そのような中自治体にとって重要な国への要望も、道にとっては全道百七十九市町村の個別の案件の一つであり、知事も歴代知事も全力を傾注してきましたが、大きすぎて北海道開発予算や新幹線など、シンボリックな要請活動にならざるを得ない実情があります。平成の合併後ですが福井県・香川県は十七市町村、富山県は十五市町です。土台一人では他県と同じようにきめ細かにできることではありません。

## 「北海道分県の足取り」

北海道の分県運動は明治中期から周期的に活発化し退潮を繰り返します。

特に、昭和二十年六月に民主党（秋に自民党）が北海道総合開発調査特別委員会を設置し、広川弘前禅委員長が北海道の総合開発のありかたを再検討しようという姿勢を見せたのが発端となり、九月同委員会が発表した「北海道における行政機構改革案」は（一）北海道開拓六カ年計画と（二）仮に道内五分県案を骨子とする「北海道の行政機構改革案」の二本立てとなっていました。これに対し、「分県によって弱小県をつくる」などと田中敏文北海道知事が反論する。

## 北海道、「県」に分割？

### 自民道議有志が研究会「4」「6」案を検討

自民党の道議有志が、北海道を複数の県に分ける「分県の研究会」を発足させた。1986年（明治19年）の道庁設置以来、浮かんでは消えてきた議論だが「広大な北海道に知事がたった1人では、国への影響力が他地域に見劣りする」との声が多く、道州制の失速も踏まえ機運が高まった。実現のハードルは高いが、議論を呼び水に政治力の強化策を探りたい考えだ。

名称は北海道分県研究会で、自民党・道民会議（51人）の30人超で構成。10月1日の役員会を皮切りに（一）道南、道央、道北、道東の4県の道南、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室の6県への2案をたた

### 国への影響力低下に危機感

き台に議論を進める。分県論が再浮上する背景にあるのは、政治力不足への危機感だ。

「面積が半分の九州は7人の県知事が連携し、新幹線延伸をいち早く実現させた」。中心メンバーはこう指摘する。道の新総合計画を審議する有識者会議でも6月、分県論に絡み「1人の知事では無理を感じる。四国はあの小ささで4人だ」との意見が出た。

道内は廃藩置県後の1882年に函館、札幌、根室の3県体制となったが、4年後に廃止され、道庁が置かれた。以来、支庁（2010年度から振興局）はあるものの、分県論が明治時代や戦後間もない時期などに度々浮上。分県した場合の「県都」となる旭川、釧路などで盛り上がりを見せ、1980年代には釧路に推進協議会、道議会でも勉強会が設立されたが、都道府県を統合する道州制の動きもあり立ち消えになった。

都道府県の廃止や分割などは地方自治法で「法律で定める」と規定。分割は1890年に現在の枠組みとなつてから例がなく、あらゆる行政の枠組みに関わる大改編になることから非現実的との指摘もある。

研究会会長の喜多龍一（道議、十勝管内）は「分県の議論を起点に、国に道内の細かな声を届けられるような地方創生につながる提案をまとめたい」と話す。

国側からの行政機構改革から提示されたものだけに、これらのことは上からの行政改革に対する警戒と反発があったものと推測するものです。

直近では、札幌に過度に集中している中枢管理機能が地方の都市に分散し、経済の活性化につながるなどとし、昭和五十八年十月に釧路市で「北海道分県推進協議会」が設立されました。

## 【今後の議論について】

分県議論を始めるにあたり、北海道の現状認識と、分権の形のたたき台として左記掲載の表に基本データを示しました。以前から指摘されていた「面積と人口を中心として県域を設定したとしても県としての自立力を保持しているか」の視点を重視し、通常用いられる面積と人口比較に追加し、域内GDPのデータを採用することにしました。

○四つに分県する場合

分県名(仮称)	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	GDP(名目、10億円)
道南県(渡島、檜山)	455,436	6,568	1,399
道央県(石狩、後志、空知、胆振、日高)	3,376,853	22,146	11,220
道北県1(宗谷、留萌、上川)	632,286	18,691	2,011
道北県2(宗谷、留萌、上川、オホーツク)	929,323	29,381	3,077
道東県1(根室、釧路、十勝、オホーツク)	967,083	35,961	3,494
道東県2(根室、釧路、十勝)	670,046	25,270	2,428

○六つに分県する場合(道東県をさらに三つに分ける)

分県名(仮称)	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	GDP(名目、10億円)
オホーツク県	297,037	10,691	1,066
十勝県	348,574	10,832	1,261
釧路・根室県	321,472	14,439	1,167

○二つに分県する場合(道東県1とそれ以外に分ける)

分県名(仮称)	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	GDP(名目、10億円)
道東県以外の地域	4,464,575	47,405	14,630

○人口比較(H27.1.1)

分県名・都道府県名	人口(人)
1 東京都	13,297,585
2 神奈川県	9,116,666
3 大阪府	8,868,870
4 愛知県	7,489,946
5 埼玉県	7,304,896
6 千葉県	6,254,106
7 兵庫県	5,638,338
8 北海道	5,431,658
9 福岡県	5,120,197
10 道東県以外の地域	4,464,575
10 静岡県	3,786,106
道央県(石狩、後志、空知、胆振、日高)	3,376,853
11 茨城県	2,981,773
12 広島県	2,869,159
13 京都府	2,579,305
14 新潟県	2,337,485
15 宮城県	2,328,133
16 長野県	2,148,503
17 岐阜県	2,087,595
18 群馬県	2,012,203
19 栃木県	2,004,417
20 福島県	1,965,386
21 岡山県	1,939,722
22 三重県	1,860,113
23 熊本県	1,818,314
24 鹿児島県	1,691,427
25 沖縄県	1,454,023
26 山口県	1,431,540
27 愛媛県	1,426,367
28 滋賀県	1,421,342
29 長崎県	1,413,155
30 奈良県	1,395,648
31 青森県	1,353,336
32 岩手県	1,300,963
33 大分県	1,190,798
34 石川県	1,159,763
35 山形県	1,140,735
36 宮崎県	1,135,652
37 富山県	1,085,710
38 秋田県	1,056,579
39 香川県	1,005,570
40 和歌山県	1,003,730
道東県1(根室、釧路、十勝、オホーツク)	967,083
道北県2(宗谷、留萌、上川、オホーツク)	929,323
41 山梨県	855,502
42 佐賀県	847,424
43 福井県	803,505
44 徳島県	776,567
45 高知県	747,122
46 島根県	706,198
道東県2(根室、釧路、十勝)	670,046
道北県1(宗谷、留萌、上川)	632,286
47 鳥取県	583,351
道南県(渡島、檜山)	455,436
十勝県	348,574
釧路・根室県	321,472
オホーツク県	297,037

○面積比較(H26.10.1)

分県名・都道府県名	面積(km <sup>2</sup> )
1 北海道	83,424
道東県以外の地域	47,405
道東県1(根室、釧路、十勝、オホーツク)	35,961
道北県2(宗谷、留萌、上川、オホーツク)	29,381
道東県2(根室、釧路、十勝)	25,270
道央県(石狩、後志、空知、胆振、日高)	22,146
道北県1(宗谷、留萌、上川)	18,691
2 岩手県	15,275
釧路・根室県	14,439
3 福島県	13,784
4 長野県	13,562
5 新潟県	12,584
6 秋田県	11,638
十勝県	10,832
オホーツク県	10,691
7 岐阜県	10,621
8 青森県	9,645
9 山形県	9,323
10 鹿児島県	9,188
11 広島県	8,479
12 兵庫県	8,401
13 静岡県	7,779
14 宮崎県	7,735
15 熊本県	7,409
16 宮城県	7,282
17 岡山県	7,115
18 高知県	7,104
19 島根県	6,708
道南県(渡島、檜山)	6,568
20 栃木県	6,408
21 群馬県	6,362
22 大分県	6,341
23 山口県	6,112
24 茨城県	6,097
25 三重県	5,774
26 愛媛県	5,676
27 愛知県	5,172
28 千葉県	5,158
29 福岡県	4,986
30 和歌山県	4,725
31 京都府	4,612
32 山梨県	4,465
33 富山県	4,248
34 福井県	4,190
35 石川県	4,186
36 徳島県	4,147
37 長崎県	4,132
38 滋賀県	4,017
39 埼玉県	3,798
40 奈良県	3,691
41 鳥取県	3,507
42 佐賀県	2,441
43 神奈川県	2,416
44 沖縄県	2,281
45 東京都	2,191
46 大阪府	1,905
47 香川県	1,877

○GDP比較(平成24年度)

分県名・都道府県名	GDP(名目、10億円)
1 東京都	91,909
2 大阪府	36,843
3 愛知県	34,359
4 神奈川県	30,258
5 埼玉県	20,374
6 千葉県	19,132
7 兵庫県	18,273
8 北海道	18,124
9 福岡県	17,912
10 静岡県	15,485
道東県以外の地域	14,630
11 茨城県	11,642
道央県(石狩、後志、空知、胆振、日高)	11,220
12 広島県	10,854
13 京都府	9,847
14 新潟県	8,687
15 宮城県	8,356
16 栃木県	7,738
17 長野県	7,686
18 群馬県	7,564
19 三重県	7,348
20 岐阜県	7,136
21 岡山県	7,065
22 福島県	6,807
23 滋賀県	5,769
24 山口県	5,693
25 熊本県	5,640
26 鹿児島県	5,347
27 愛媛県	4,716
28 青森県	4,472
29 石川県	4,426
30 長崎県	4,403
31 富山県	4,384
32 岩手県	4,381
33 大分県	4,199
34 沖縄県	3,807
35 香川県	3,764
36 山形県	3,690
37 和歌山県	3,573
38 宮崎県	3,531
39 秋田県	3,502
40 奈良県	3,499
道東県1(根室、釧路、十勝、オホーツク)	3,494
41 山梨県	3,138
42 福井県	3,090
道北県2(宗谷、留萌、上川、オホーツク)	3,077
43 徳島県	2,839
44 佐賀県	2,644
道東県2(根室、釧路、十勝)	2,428
45 島根県	2,342
46 高知県	2,160
道北県1(宗谷、留萌、上川)	2,011
47 鳥取県	1,748
道南県(渡島、檜山)	1,399
十勝県	1,261
釧路・根室県	1,167
オホーツク県	1,066



**自由民主**  
LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
振替口座 東京00180-1-19518

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.or.jp/>



音更町長と麦感祭で

**2015年  
活動写真**



幕別2ヶ所共同墓地慰霊祭



忠類どんとこい祭もちまき



大樹町振別神社秋祭



池田町懇親会野遊会

**ご挨拶**

こう言った記事を書く事など  
高校生の学年新聞以来なもので  
何を書いていいものかさっぱり検  
討もつかず、刻々と締め切りの日  
が近づいてきている今日この頃。  
何時まで経っても文章が進まな  
いのも困るので、先ほどから延々  
とパソコンの前で頭を抱えている  
私の自己紹介を短くさせて頂き  
ます。

改めまして、私は今年の八月よ  
り喜多龍一事務所に入りました大  
澤友記(おおさわともき)と申し  
ます。

趣味は読書とテレビゲーム。出  
身は新得の屈足で、実家は店を開  
めてしまいましたが酒屋を開い  
ておりました。

小中と屈足の学校へ行き、高校  
は新得高校へ入学。学生時代は野  
球部に所属しシヨートを守ってお  
り、高校時代は野球部と兼任して  
「アニメ研究会」を勝手に立ち上  
げ、今思えばちよぷり痛い青春  
を謳歌。

高校卒業後、東京の専門学校へ  
進学、以後十五年程東京に住んで  
おりましたが、年齢が三〇を超え  
た頃から軽いホームシック気味に  
陥り、今年三三歳になって故郷の  
北海道へと舞い戻って参りまし  
た。

縁がありまして、喜多龍一事務  
所で働かせて頂ける事となりま  
したが、普通のサラリーマンから  
全く別の世界へと足を踏み込み、  
十五年間北海道を離れていたの  
で、十勝の地理もよく分かってお  
らず、冬道もおっかなびっくり走  
うて今年の冬を無事越すことがで  
きるか心配な私ですが、今後共  
よろしく願っています。